

令和7年度第1回大磯スポーツ推進審議会会議録

- 日時 令和8年3月4日（水）18:00～18:50
- 場所 大磯町役場本庁舎4階第2委員会室
- 出席者 会長、副会長ほか委員3名
- 事務局 町民福祉部長、スポーツ健康課長、スポーツ健康課職員
- その他 大磯町長
- 傍聴者 0名

1. 議題

- (1) 大磯町スポーツ表彰について【資料1】
(事務局資料説明)

【質疑応答・意見】

委員 ニュースポーツについてもう一度教えていただきたい。

事務局 大磯町スポーツ推進委員協議会ではニュースポーツの普及をしており、からユニカールの普及をしているところである。ユニカール大会などに御協力いただいている。

委員 「ニュースポーツ」イコール「ユニカール」なのか。

事務局 大磯町として推進しているニュースポーツがユニカールである。

委員 ニュースポーツについて説明すると、町として何をやるかというユニカールとなったが、令和7年度でいうとモルックを普及しようとしている。ユニカールからモルックまでの間でもいろいろと検討した。神奈川県や県西ブロックが主催するスポーツ推進委員研修会に積極的に参加して、そこでそれぞれの市町村で様々なニュースポーツをやっている。大磯町として参加して、吸収して何をやるかという話をする。ただ、場所の問題や道具の費用などにも課題があったりする。大磯町の場合は、ユニカールを始めるときに町が備品を購入していただいたので、現在もユニカールを行っているという状況である。

委員 スポーツ推進委員の方は10年経ったら、皆さんがスポーツ功労賞の対象となるのか。

事務局 10年以上在籍し、退任された方が対象となる。

委員 10年経って引き続き在籍されている方は対象ではないのか。

事務局 退任された方でないと対象にならない。

委員 途中で退任される方はいるが、候補者と同期で入った人で候補者含め、3

人いる。候補者は一昨年に退任されたので、対象となっている。

また、10年というのは、神奈川県スポーツ推進委員表彰の対象にもなっている。県大会で表彰された。

委員 スポーツ推進委員とスポーツ協会の表彰の基準の違いは何か。

事務局 スポーツ推進委員は、町が委嘱して活動しているところである。

委員 スポーツ協会は、役員でいうと20年という基準があると思うが。

事務局 スポーツ協会会長を6年以上務められ退任された方という基準もあるが、役員20年という部分は目安として、3・4年前に前会長と話をさせてもらった経過がある。

(委員承認)

(2) スポーツ団体に関する補助金について【資料2】

(事務局説明)

【質疑応答・意見】

委員 令和7年度は、小諸市が大磯町に来られたということだが、何人くらいの小諸市の方が来られたのか。

委員 20数人くらいだと思う。

委員 令和8年度は、大磯町から何人くらいの方が小諸市に訪問するのか。

委員 実際には、まだ日程も決まっていない。今月中に神奈川県ママさんバレー連盟の総会があり、令和8年度の大会日程が決まる。人数を確保しなければならないので、その空いている日程で小諸市に訪問しようと考えている。ママさんバレーなので、最低9人は参加しなければならない。そうすると、15人くらいの方が訪問するのではないかと考えている。

(委員承認)

(3) スポーツ関連行事について（令和7年度・令和8年度）【資料3】

(事務局説明)

【質疑応答・意見】

委員 主催が大磯町スポーツ推進委員協議会と大磯町スポーツ協会、大磯町その他実行委員会があるが、大磯町主催というのはどういう基準なのか。昔からそうなのか。新しい教室も町主催になりうるのか。

事務局 大磯町主催は、基本的には町の予算を使って、参加していただく大会や教室である。

委員 大磯町主催でユニカール教室をやっているが、ユニカールクラブの人が参加したり、スポーツ推進委員でもユニカール教室に参加している人もいる。それとは別にユニカール大会をやっている。例えば、今年大磯町スポーツ推進協議会でやっている大会を町主催でやってくださいということは可能なのか。費用の問題なのか。

事務局 ユニカール教室については、町がユニカールクラブに御協力いただき、国府小学校、大磯小学校、生涯学習館をユニカール教室を行う場として提供させていただいている。卓球教室も同様の形であり、大磯町主催で実施している。実績がどうというよりは、どこが主だってやっているかである。

委員 スポーツ鬼ごっこ教室も大磯町が主催となっているが。

事務局 講師の方と委託契約をして実施している。

委員 始めるにあたって手続きみたいなものはあるのか。

事務局 町の計画の「けんこうプラン大磯」の中でスポーツ振興の計画を持っており、町で主催して教室などの場を提供する部分と町がお願いしている大磯町スポーツ協会や大磯町スポーツ推進委員協議会が実施している部分を含めて本来は町がすべて行うとなると、それはできないので、それぞれの役割の中で実施させていただいているところである。ただ、町としてもスポーツの場を提供するというスポーツ振興の予算を確保した中で町ができる範囲で、子ども水泳教室やスポーツ鬼ごっこ教室などの教室をスポーツ健康課が主催して実施している。

委員 基本的に〇〇教室というものが大磯町主催となるか。

事務局 そのとおりである。

委員 スポーツ推進という意味でスポーツ教室は価値があると思う。スポーツ教室とスポーツ大会の関連性には何か戦略的なものはあるのか。

事務局 スポーツ大会を行うことで、その大会に向けて、参加する方が競技力や体力の向上を図ったり、チームで出場する場合は、全員で頑張るといような結束力を高めてもらう。

委員 ユニカール教室は通年で毎月実施しているのか。

事務局 毎月実施している。国府小学校、大磯小学校、生涯学習館で各1回ずつのため、毎月3回実施している形になる。年間合計で36回となる。

委員 その中で令和8年度は11月にユニカール大会を実施するという予定になっており、どのように結びつくのか。4月から始めて、11月頃に盛り上がって、大会を行うことで推進につながるだろうという意図なのか。

事務局 ユニカール大会の実施の時期は、大磯町スポーツ推進委員協議会の会議の中で他の事業とのバランスを見て決めている。なお、令和7年度は、令和8年2月15日（日）に開催した。

委員 例年、国府小学校で実施しており、場所が空いているかとか大磯ユニカールクラブに御協力をいただいているので、その調整をしなければならない。通常は、秋に実施しているが、イベントが多いため、2月に実施した。基本的にユニカール教室で知らない人が初めて体験してもらい、全体的な底上げをして、スポーツ推進委員もユニカール教室に参加して指導をする。そこで、人脈もできるし、ユニカール大会の周知もできる。そういう意味ではつながりは十分ある。

委員 参加者も増えているのか。

委員 10数回実施しているが、ご協力いただいている大磯ユニカールクラブも高齢化している。子供でもできるスポーツであり、高齢者もできるスポーツなので、新しく始める人もいるが、できなくなってやめてしまう人もいる。ニュースポーツで始めた時は競技人口は増えていたが、最近は減ってきている。道具をセットするときも少し時間がかかり、マットは重いので、手軽ではない。大磯町に最初に数百万円かけてユニカールのセットを用意していただいたが、老朽化してきている。ユニカール自体がスポーツ推進委員としてあと何年できるかというところに来ている。

委員 ユニカールを町で推進しているというのは、稀有というか特徴的である。推進という意味ではぜひ継続していただきたいと思う。

委員 ユニカールクラブの年齢層と道具の老朽化というところでは、今後課題になってくる。神奈川県ユニカール大会を昨年度に大磯町で開催したこともある。県西の市町村のスポーツ推進委員の間では、大磯町は良い設備環境の中でユニカールを推進しているというところはある程度認知されている。実際に県大会でも大磯町のチームが優勝したこともある。

委員 会場が小学校なので、大磯町の小学生が一度はやって、大人になっていくというのも良い姿だなと。いろいろな理由があると思うが、継続していただければと思う。

(委員承認)

2. その他

委員 大磯町スポーツ推進委員活動イベント事業交付金は5つの事業に活用させていただきたいと考えているが、その費用とは別に委員の中で会費を集め

て運営している。近年、他の市町村との交流や神奈川県研修会などに積極的に参加するようになってきている。会長が変わると会の考え方が変わる。県大会、関東大会、全国大会に会長が出席しているが、会長の交通費・宿泊費が自腹になっており、令和7年度分が会費からの持ち出しになっている。今年度は繰越金があり何とかあったが、来年度は繰越金が減るので、会費を5,000円から7,000円に値上げしようと三役での打合せをしていて、4月の総会に会費の値上げの議案を挙げようと考えている。町の基準を考えると、表彰者がいれば旅費は出るが、いなければ出ないという形になる。また、会長が表彰者であればよいが、他の方が表彰され、会長が随行することになる。今年度はそのようなケースがあったため、持ち出しが出てしまった。すぐに改善されるとは考えていないが、今後の課題として改善していただけるとありがたい。

事務局 旅費の部分については、町で他の市町村の担当者に聞き取りを行ったりして調査をしていきたいと考えている。どのような予算の取り方をしているのか、また改めてお話できればと思っている。

委員 スポ推だよりをととても興味深く見させていただいた。何か反響や声があったりするか。

委員 この形で作るようになってから、3、4年経つが他の市町村からはかなり評価が高いと感じている。

委員 他の市町村でも同じような会報を発行しているのか。

委員 広報部会という部会があり、みんなが撮った写真をLINEなどで集めて、相談して工夫をしながら作っている。スポ推だよりを見て委員にやってみたいという方もいる。

事務局 神奈川県スポーツ推進委員連合会理事会が今週末に開催される予定だが、その中の資料としても、大磯町のスポ推だよりを配布する予定である。

以上